

飛鳥資料館開館40周年記念 秋期特別展「キトラ古墳と天の科学」

飛鳥時代、天体を観測し、暦をつくり、時を計ることは、支配者の重要な役割でした。中国や朝鮮半島から伝えられた最先端の知識が、天の科学と呼ぶべき科学技術のもとになっています。キトラ古墳の天文図、水落遺跡の漏刻、石神遺跡の具注暦木簡等は、飛鳥時代の天の科学の実態を知ることができる貴重な資料です。

また、石神遺跡から出土した須弥山石も支配者の権力を表すものでした。世界の中心を象徴する須弥山石の周りで蝦夷や外国使節の饗宴、儀礼をおこなうことで、支配の正当性を誇示したのです。飛鳥時代の天の科学は平安時代以降の仏教美術や近世の天文学にもつながっていきます。

今回の展覧会では、キトラ古墳天文図にかかわる最新の研究成果を中心に、考古資料と天文関係資料・美術品等を紹介しながら、飛鳥時代の天の科学に迫ります。

(飛鳥資料館 石橋 茂登・西田 紀子)



会 期：10月9日(金)～11月29日(日) 会期中無休

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

講演会：10月31日(土)13：00「キトラ古墳と天の科学」 於：明日香村中央公民館(明日香村川原91-1) 公共交通機関をご利用下さい。

高柳 雄一(多摩六都科学館)・中村 士(大東文化大学東洋研究所)・相馬 充(国立天文台)ほか

ギャラリートーク：10月16日(金)、11月15日(日) 各日10：00～、15：00～

ホームページ：http://www.nabunken.go.jp/asuka/ お問合せ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

平城宮跡資料館 平成27年度秋期特別展

「地下の正倉院展 造酒司木簡の世界」

2015年、平城宮跡造酒司出土木簡568点が、一括して国の重要文化財に指定されました。今年度の地下の正倉院展は、これを記念して、新指定の木簡をご覧いただく展示を企画しました。造酒司とは、酒や酢の醸造をつかさどる役所です。今回指定されたのは、1964年から65年にかけておこなわれた発掘調査で見つかった木簡で、調査地が造酒司であったことを特定する重要な根拠となりました。木簡からは、酒造りを中心とする様々な日常業務の様子をうかがうことができ、中には724年におこなわれた聖武天皇の大嘗祭に関わるものも見られます。造酒司跡では、その後も数次にわたる発掘調査がおこなわれており、それらの成果もあわせてご紹介します。秋の一日、造酒司木簡の語る世界をじっくりと味わっていただければ幸いです。

(都城発掘調査部 桑田 訓也／企画調整部 中村 玲)

会 期：10月17日(土)～11月29日(日) 月曜休館(11月2日、23日は開館。11月24日(火)は休館)

(Ⅰ期)10月17日(土)～10月30日(金) (Ⅱ期)10月31日(土)～11月15日(日) (Ⅲ期)11月17日(火)～11月29日(日)

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

ギャラリートーク：(Ⅰ期)10月23日(金)、(Ⅱ期)11月6日(金)、(Ⅲ期)11月20日(金) 各日14：30～

ホームページ：http://www.nabunken.go.jp/heiho/museum/ お問合せ：☎0742-30-6753(連携推進課)



■ お知らせ

飛鳥資料館開館40周年記念秋期特別展

2015年10月9日(金)～11月29日(日)

「キトラ古墳と天の科学」

平城宮跡資料館秋期特別展

2015年10月17日(土)～11月29日(日)

「地下の正倉院展 造酒司木簡の世界」

特別講演会(東京会場)

2015年10月24日(土) 於：有楽町朝日ホール

「発掘遺構から読み解く古代建築」

第117回公開講演会

2015年11月7日(土) 於：平城宮跡資料館

■ 記 録

文化財担当者研修

○報告書作成Ⅰ(編集基礎) 課程

2015年7月6日～10日

14名

○報告書作成Ⅱ(応用制作) 課程

2015年7月13日～17日

10名

○遺跡情報記録調査課程

2015年9月8日～11日

10名

○土器・木製品調査課程

2015年9月14日～18日

11名

飛鳥資料館開館40周年記念夏期企画展

2015年8月7日～9月13日

第6回写真コンテスト作品展

「ひさかたの天—いにしへの飛鳥を想ふ—」 4,088名

■ 最近の本

○奈良文化財研究所 編

『遺跡の年代を測るものさしと奈文研』

(株)クパプロ 2015年7月

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 http://www.nabunken.go.jp

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2015年9月